

学校評議員会の実施報告書

ホームページへの掲載	
済・未	7月 日掲載

学校名 岐阜県立飛騨特別支援学校

学校長 松井 みどり

所在地 高山市山田町 8 3 1 - 4 4 電話 0577-34-7122

1 会議の名称

平成 2 9 年度 第 1 回学校評議員会

2 会議の構成

<学校評議員>

犬石 美恵子	地域住民代表
京極 範子	地域住民代表
下田 進市	P T A 会長
杉本 晋治	ひだ障がい者総合支援センターふりずむ センター長 (今回欠席)
山木 隆平	(株) ふるさと清見 2 1 代表取締役

<学校職員>

松井みどり	校長
北村 浩好	事務部長
渡辺 雅信	教頭
牧野 直美	小学部主事
井尻 敏幸	中学部主事
奥田 寛	高等部主事
清水 栄枝	教務主任

3 会議の目的

学校教育が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携を図りながら充実した教育活動を展開するため、学校外の有識者等の参加を得て、校長が行う学校運営に関し幅広く意見を聞き、必要に応じて助言を求める。

4 会議の開催

平成 2 9 年 6 月 2 6 日 (月) 1 0 時 0 0 分 ~ 1 1 時 4 5 分

飛騨特別支援学校 校長室（本館 1 階）及び各教室及・会議室・各教室
学校評議員 4 名と学校職員 7 名が出席

5 会議の概要

(1) 校長挨拶（校長室）

(2) 委嘱状交付（校長室）

(3) 授業参観（各教室・体育館）

(4) 自己紹介（会議室）

(5) 評議

①今年度の教育活動について

(ア) 教務部より

- ・児童生徒についての概要説明
- ・本校の教育目標・重点について
- ・学校行事や部活動について
- ・個別の支援計画について
- ・卒業生の進路状況について

(イ) 教頭より

昨年度の評議委員会において、地域への発信をもっとすべきであるというご意見をいただけてきた。今年度は、高等部が作業班の製品を陣屋朝市で販売したり、木材工芸班の作品が高山市の「ふるさと納税のお礼の品」に選ばれたり、大きな話題となった。また、銀行と連携したお金の使い方についての講座なども計画している。

本日は本校の教育活動について忌憚のないご意見をお願いしたい。

②授業参観及び教育活動についての御意見

意見 1：夏休みなどを利用して道の駅などで、高等部が作業学習で制作した製品を生徒たち自身で販売してみてもどうか。子どもたちにも良い刺激になるのではないか。

学校：7月に開催される「やる！やる！マーケット」後ということもあり製品が少ないことが懸念されるが、高等部とも話し合って対応を考えたい。

意見 2：昨日大きな地震があり、大変こわい思いをしたが、地震などの災害に対する防災教育はどうなっているのか。また地域で防災に取り組むという観点において、どこの家に障がいをもっている子どもさんがいらっしゃる

るかはあまり知られていないのが現状であり、障がい者を有している方がどのように地域へ参加していったらよいか、お聞かせいただきたい。

学校 : 学校では、「シェイクアウト訓練」(毎月)や、「いのちを守る訓練」(年間2回)を実施している。また昨年は、高山市PTA連合会との共催で、地域へ参加していくための防災研修会を開催した。保護者の方々より、ハザードマップやヘルメット着用の重要性なども指摘され、自分の命は自分で守っていくことを考える良い機会となった。備蓄品についても、学校として準備するのではなく、個々の備蓄品を各個人で準備してもらうことを計画している。試食会なども計画中である。

意見3 : 「いらっしゃいませ」という声をだすことは大人の私たちでもとても勇気のいることで、生徒たちはよくやっていると思う。高等部の作業学習を見学させていただいたとき、一生懸命私たちに説明してくれる姿に大変感動した。実社会へ出たとき、人への接し方をこういうところで勉強していることを実感した。

学校 : 生徒たちは校内で販売する「やる！やる！マーケット」の時などは大きな声で「いらっしゃいませ」と言えるが、校外ではあまり大きな声を出せないのが実情である。一方で今年から始まった陣屋朝市での販売などでは、呼び込みをすることはいけないということもあり、大きな声が出せず、場に応じた対応を求められている。

意見4 : 陣屋での販売は木工製品が主体で行われるのか。

学校 : 木工製品だけでなくすべての製品(食品以外の製品)を販売している。次回の朝市での販売は7月22日の午前中を予定している。観光客の中には外国人も多く、英語による商品説明のパンフレットを準備し、生徒たちに簡単な英会話のやりとりができるよう指導していきたいと考えている。

意見5 : 今日校舎を案内していただいたが、小学部と高等部が渡り廊下でつながれており、増築されてできたというイメージをうけた。また特別支援学校の子どもの数は増えているのか。

学校 : 飛騨吉城特別支援学校や下呂特別支援学校ができたこともあり、飛騨地区全体としては増加傾向であるが、本校の生徒数に関しては横ばいである。しかし、教室数については、児童生徒が興奮状態になったときなどに教室とは別の落ち着ける部屋が必要であり、小学部ではすでに足りない状況となっている。

意見6：本日見せていただいた学校紹介の中で、体育祭の組体操（ピラミッド）の写真があったが、現在も行っているのか。

学校：高等部の伝統種目となっており、毎年実施している。職員が周りに5人ほどついており、安全に留意した組み方をさせている。今後も細心の注意を払い、安全を確認しながら実施していきたい。

③高等部作業学習の製品価格について

現在のところ、各作業班からは何も新製品は出されていない。今後新製品が考案できた場合は、夏休み中に評議員の方々を訪問しご意見を伺いたいたいと考えている。価格などについても、市場価格とあまりかい離してしまうことのないよう設定しているが、いろいろなご意見を聞かせていただきたい。

6 会議のまとめ

- ・評議員の皆さんに子どもたちの様子を見ていただきよかった。
今後とも学校への情報提供をお願いしたい。